

Our Activities

教育・普及活動



イリオモテヤマネコは、世界で西表島にのみ生息するネコ科の野生生物です。環境省レッドリストでは「ごく近い将来、野生での絶滅の危険性が極めて高いもの」（絶滅危惧1A類）に選定されており、推定生息数はわずか100頭ほどといわれています。イリオモテヤマネコはイエネコと同じくらいの大きさで(体重約3~5kg),やや胴長短足で太いしっぽ、それに小さなまだら模様の体、歌舞伎役者のような目の周りの白いくまどりが特徴です。明け方・夕暮れに活発に活動する夜行性で、子育て時以外は単独で暮らします。



西表島の森にヤマネコが棲んでいることは、島の人には古くから知られていました。しかし、野生のネコ科動物が生息するためには一般にとっても広い土地を必要とするため、西表島のような小さな島にヤマネコが生息しているとは考えられず、十分調査が行われませんでした。そのため、イリオモテヤマネコが学術的な意味で発見されたのは1965年と比較的最近の事です。JTEFの理事長戸川久美の父である小説家の戸川幸夫が取材で西表島を訪れ、島民の協力を得て入手した毛皮と頭骨がきっかけで調査が行われることとなり、1967年の哺乳類学会で新種として認定されることになりました。

やまねこ パトロール

認定NPO法人
トラ・ゾウ保護基金

<https://www.jtef.jp/>



認定NPO法人 トラ・ゾウ保護基金

Threats to Wildlife

What is Yamapato?

Contact Us



夜間パトロール



県道の除草作業



西表島は亜熱帯海洋性気候。温暖で多雨なため年間を通して植物が成長します。一方で、県道215号南風見線の除草作業は予算の都合もあり、十分に行われていないというのが現状です。そのため、集落外の道路脇や歩道などは1年のほとんど草本に覆われており、道路の見通しが悪くなっています。やまねこパトロールでは、特にヤマネコの目撃、事故が多発している地点を中心に除草作業を実施しています。



0980-85-6208 (西表島・上原)



03-3595-8088 (東京JTEF本部)

<https://www.jtef.jp/>



takayama@jtef.jp (西表島・上原)

hogokikin@jtef.jp (東京JTEF本部)



907-0001 沖縄県八重山郡竹富町上原656-2

105-0001 東京都港区虎ノ門2-5-4末広ビル3F

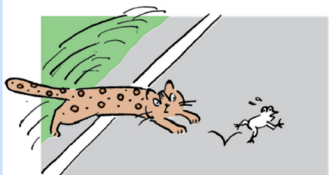


Yamapato

西表島に在住するパトロール員が、イリオモテヤマネコの路上出没、交通事故が多発する19:30~22:00の時間帯に夜間パトロールを2人1組で実施しています。出会った通行車両に注意を呼びかけるとともに、交通調査(車種、交通量、進行方向、速度モニタリング)を行っています。交通調査の結果や現場で得られた情報は、環境省・林野庁主催のイリオモテヤマネコ保護増殖検討会で関係機関と共有しています。また、ヤマネコを道路に誘引する原因となる小動物やその死骸などは道路外に移動させます。



近年は道路を積極的に利用する「道路慣れ」したヤマネコの出没も問題となっています。見通しが良く獲物を探しやすい道路で狩りをしたり、轢かれて死んだヘビやカエルなどを食べるために道路に頻繁に出てくるのです。特に狩りが上手くできない、独り立ちしたばかりの若いネコや老齢の個体に多く見られ、路上出没を繰り返しているうちに交通事故に遭い死んでしまうという事例も増えてきています。



Japan Tiger and Elephant Fund (JTEF)
トラ・ゾウ・イリオモテヤマネコの各保護基金は、野生の生きものの立場に立ってその世界を守るという理念のもとに生物多様性を保全し、その活動を通じて人の豊かな自然環境を守る非営利、非政府の団体です。

We need your help!

サポートをお願いしています!



©Susumu Murata